

## ミヤコグサ と セイヨウミヤコグサ

ミヤコグサは、「都草」と書きます。昔、都大路（みやこおおじ）にたくさん咲いていたことから付けられた名前だと言われています。

ミヤコグサは、純黄色の花が1花茎（かけい）に2個ずつ咲きます。それに対して帰化植物のセイヨウミヤコグサは、同じような花が1花茎に5個ほどにぎやかに咲きます。

ヨーロッパ原産の牧草で寒い地方に多く帰化していますが、富士市ではわずかに見られるだけです。今後、どのように増えていくのでしょうか。

ミヤコグサ



セイヨウミヤコグサ

